



仕事紹介(令和4年度の主な取り組み)

【基本情報】(令和4年4月1日時点)
人口 118,742人 面積 12.30km² 職員数 830人

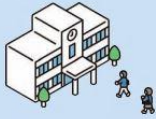
門真市はこれから大きく変化していきます。一緒に新しい門真をつくっていきましょう!

「人情味あふれる! 笑いのたえない門真」の実現

「人情味あふれる! 笑いのたえない門真」の実現をめざし、今年度は以下施策の充実等に取り組んでいます。

1. 教育施策の充実

●小中一貫校(義務教育学校)の新校舎の設計に着手
第四中学校区の義務教育学校設置に向けて、学校のコンセプトや配置・必要な機能などをまとめた整備基本計画に基づき、校舎などを新築するための設計業務に着手します。



●学力向上施策の充実(学力向上アクションプラン) 組織体制の強化、学力向上のための市独自教員を追加配置するなど、学力向上の取組を強化します。

☆生徒・児童それぞれの実態に応じたきめ細やかな教育を確実に実施し、5年度全国学力・学習状況調査での全国平均超えをめざします!

2. 子育て施策の充実

●保育所等給食費補助の対象者を拡充
保育所等給食費(月額4500円)の補助対象者を認定こども園などに通うすべての3歳以上に拡充します。

●新生児聴覚検査費用助成の実施
難聴などの早期発見および適切な早期療育の提供に繋がるよう、新生児聴覚検査費用を助成します。



●療育・病後児保育事業の利用料のワンコイン化
利用料を2000円から500円に軽減します。

☆出産・子育てがしやすい環境をさらに充実し、「こどもを真ん中に」おいたまちづくりをすすめます!

3. 快適な住まい環境の整備

●生涯学習複合施設の基本設計に着手
中之島美術館などの設計実績がある「奥達藤克彦建築研究所」が、運営予定者「カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)」と連携しながら、基本設計業務を実施します。



●門真市駅周辺のエリアリノベーションの実施
門真市駅周辺地域におけるまちの価値を向上させるため、公民連携のエリアリノベーションを実施します。

●古川橋駅周辺のウォーカブルなまちづくりを推進
古川橋駅周辺における既存の道路や広場などを改修・変更し、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成をめざすため、基本構想を策定します。



●パークイノベーション計画策定
市内の公園をより楽しく、充実した憩いの空間へと変えていくパークイノベーション計画を策定します。

●庁舎エリア整備を推進
庁舎エリアにおける庁舎と防災機能を有する公園・広場が一体的なまちづくりを実現するため、庁舎エリア整備課を設置し、基本構想を策定します。

☆安全・安心で快適な住まい環境が整備されたまちをめざします!

4. デジタル化の推進

●(仮称) 門真市DX推進計画を策定
本市におけるデジタル・トランスフォーメーション(DX)の取り組みを積極的に進めるため、計画を策定します。

●庁内窓口でのキャッシュレス決済の導入
収納課窓口で、キャッシュレス決済専用端末を先行導入します。

●電子決裁システム(公文書管理および財務会計)の導入
業務効率化およびペーパーレス化を推進します。



●統合型校務支援システムの導入
学校における教員の校務の効率化を図ります。

●高齢福祉公共施設のICT環境を整備
老人福祉センターなどで高齢者がオンラインで健康教室などを受講できるICT環境を整備します。

☆デジタル技術を活用し、スムーズに行政手続きができるまちをめざします!

門真市庁舎エリア整備ビジョン策定

今後の庁舎エリアの整備について、具体的な取り組みを進めるうえで、コンセプトやゾーニング・施設配置の方針等についてまとめたビジョンを策定し、実現に向けて取り組んでいます。

庁舎エリアのまちづくりの方向性

『庁舎機能』『公園・広場機能』『防災機能』が連携し一体的に機能を発揮できる拠点
人や活動を招き入れ、『周辺エリア』と連携した新たなまちづくりを創造し、情報を発信・動きを波及させる拠点

【庁舎機能】
○誰にでも分かりやすく利用しやすいユニバーサルデザイン
○クリエイティブな発想や新たなまちづくりを実現する執務環境
○屋外空間との関係性、連続性

【公園・広場機能】
○緑に包まれ、居心地が良くゆったりとできる空間
○質の高いランドスケープ
○庁舎とのつながりの考慮
○活気や新しいコトを生む場

【防災機能】
○庁舎及び広場が、防災拠点の役割を果たすよう考慮
○関連計画の位置づけと現況に合わせた機能分担、整理
○総合体育館等周辺施設と一体となった災害対応機能の発揮

【周辺エリアとの連携】

○門真市駅、古川橋駅を中心とする両エリアの中間に位置し、これらの動きをつなぎ発展させるために、ウォーカブルの観点からの空間デザインや、公民連携による取り組みを新たに創り出し、後押しするような環境形成



「新しい働き方と公民連携でめざす、庁舎エリアのビジョン」メインコンセプト

みんなで描き、みんなでつなぐ
このまちがキャンパスに

庁舎エリアの「空間のあり方」

- 新しい働き方・アクティビティが実現できる、庁舎と広場が融合した、一様となった空間(廊下、階段)
- 隣接する施設(市立総合体育館、市立門真はすはな中学校、市民施設、市役所など)や周辺エリアと連携した空間
- 使い手に応じて多様性、柔軟に変化し、育てている庁舎・広場
- 防災や環境などに配慮した空間

「公民連携」で実現する庁舎エリア

- みんなのアイデアを募集していく、クリエイティブな発想、仕掛けを実現していく
- プロセスから「公民連携」で(プロセスから市民や事業者、職員等関係者と一緒につくり上げていく)、やってみる、見せてみる、トライアルからつくり上げていく
- プレイヤーを振り回さず、育てていく

・このまちに関わる人たち、市民、事業者、団体、職員・・・ここでは、みんなつながり仲間となって、未来の新しい門真を思い描き、表現する
・このまちをキャンパスに、門真らしい新しい働き方、楽しみ方、変化が、次々と生まれていく



門真市役所

データで見る仕事環境

人事課 TOPICS

平均年齢

40.3歳

(令和3年4月1日現在)
※一般行政職員の平均年齢
【参考】

全地方公共団体平均 42.1歳
(令和3年給与・定員等の調査結果等)

若手職員
絶賛
活躍中!

女性職員の割合

37.8%

(令和3年4月1日現在)
【参考】
(令和3年度女性活躍推進法第19条第6項
及び第21条に基づく女性の職業選択に資
する情報の公表)

休みが取りやすい
環境が
整ってます!

年次有給休暇の平均
取得日数

13.8日

(令和2年度取得日数)
※門真市では、年間20日付与され
1時間単位で取得可

【参考】
全地方公共団体平均 11.7日
民間企業平均 10.1日
(令和2年度地方公共団体の勤務条件等
に関する調査結果)

テレワーク本格実施

職員の意見も踏まえ、一定環境が整ったこと
から令和4年4月1日より本格実施しています。
※時間単位で実施可能です。
※一定の条件あり
(主なメリット)
通勤の往復の時間を短縮し、家族と過ごす時
間や趣味の時間が増えます。

平均給与月額

381,873円

(令和3年4月1日現在)
※一般行政職員の平均給与月額(時間外
勤務手当等を除く)
(令和3年給与・定員等の調査結果等)

女性の活躍を
推進しています!

女性管理職の割合

18.3%

(令和3年4月1日現在)
【参考】
全市区町村平均 16.5%【一般行政職】
(令和3年度地方公共団体における男女共
同参画社会の形成又は女性に関する施策
の推進状況)

育児休業取得率

女性100%

男性42.1%

(令和2年度育児休業取得率)
【参考】
全地方公共団体平均
女性99.7% 男性13.2%
(令和2年度地方公共団体の勤務条件等
に関する調査結果)
民間企業平均
女性81.6% 男性12.65%
(令和2年度雇用均等基本調査)

H31年度は
男性の取得率
大阪府内1位!
(町除く)

職員の超過勤務の状況

7.7時間

(令和2年度における職員1人当たりの月
平均)
※8月をノー残業デー推進月間、毎週水・金
曜日をノー残業デーとして職員の健康増進
及びワークライフバランスの実現を推進
【参考】
全地方公共団体 11.1時間
(令和2年度地方公共団体の勤務条件等
に関する調査結果)

効率的に
働きましょう!



1on1ミーティングの試行実施

「部下のための時間」として上司が聞き手に
徹し、部下のキャリア構築や部下との信頼関
係を構築することなどを目的に、上司と部下に
よる1対1の定期的な対話を行う取組を試行実
施しています。

子育て部分休暇

小学校等の第1学年
から第3学年までに在学
している子を養育する職
員は、1日につき2時間
を超えない範囲で30分
単位で取得可
※小学校就学前までの
子を養育するために
1日2時間まで育児部
分休業を取得可

